

# 特許紹介

第26巻第3號 昭和15年3月

## セメント管地中製造法

(特許第152729號 發明者 柴山四吉)  
(特許權者 利根ホーリング)

此の發明は、地中の孔壁崩壊防止用鐵管の代りに之より遙かに安價なるセメント管を用ひ、而も其のセメント管を地中穿孔内に於て眞直に且つ迅速適確に構成し得る利點を有するものである。之を圖に就いて説明すれば、先ず第1に地中に或る深さに達するボーリングを行ひ、其の孔内(1)にセメント乳(2)を送入し、更に其のセメント乳内に中間部以下に水が流下せず且つ中間部より外側方に流出するやうに穿孔した鐵管(6)を挿入し(圖-1)、次いで其の鐵管(6)の上方内より水を送給して中間部の孔(5)より外側方に流出せしめ、其の孔の上部に於て水の流出路を狹窄(8)して水壓を高め(圖-2)、或る時間水の壓送を繼續した後送水を中止すると共に鐵管を引抜きてセメント管(9)を構成するのである(圖-3)。

圖-1.

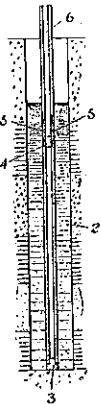


圖-2.

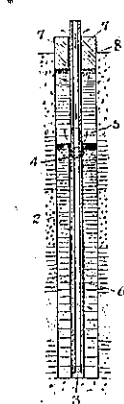
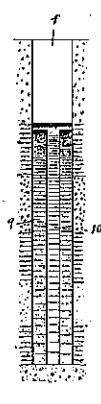


圖-3.



## 螺旋杭の捻込沈下法

(特許第175375號 發明者 堤 節吉)  
(特許權者 竹中工務店)

此の發明は、軌條(10)に臺盤(1)を摺動自在に嵌合せしめ、其の臺盤には原動機(2)及之に依つて驅動回轉せしめられる垂直回轉軸(4)を設け、其の回轉軸の先端にある嵌合子(21)を周圍にピッチ小なる螺條を刻んだ杭上端の嵌合部(23)に嵌着せしめ、杭を垂直回轉軸の回轉に伴つて回轉させると同時に前記の原動機其他

を備へる臺盤(1)の全荷重をして前記杭の上端部に垂下力として作用するやうに構成せしめた装置を用ふる螺旋杭の捻込沈下法である。之には臺盤上の全荷重を利用し得る利點がある(圖-4,5)。

圖-4.

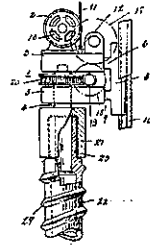
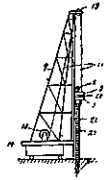


圖-5.



## 基礎工事の改良

(特許第133308號 發明者 ジョージ・ア・ロイ)  
(特許權者 ジョージ・ア・ロイ)

此の發明は、基礎が所定位置に定置せられた後摩擦作用が地層から基礎に若くは基礎から地層に傳へられる虞のある場合に、基礎部體の外周に潤滑劑を永続的に保持せられるやうにしたもので、かくて其の有害なる壓力を傳ふる虞れある地層と基礎との間の摩擦を防ぐとするものである。

## 沈澱集装置

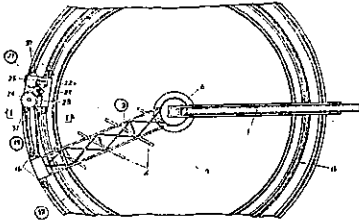
(特許第133245號 發明者 西原職次)  
(特許權者 住友建設製作株式会社)

從來の此の種沈澱集装置は回轉棒の外端上に具へられた運轉装置で沈澱槽外縁上の軌道上を驅動するやうにしたものであるが、冬期に軌道面が凍結して居る等の原因で、起動摩擦力を減少し或は沈澱物が過度に蓄積し抵抗を増大する時は、驅動機は回轉棒と共に押し上げられ其の爲め軌道面と間隙を生じ又は抵抗大なる爲に軌道面にて驅動機はスリップし回轉棒に所要の回轉動作を與へ難く其の爲め作業上諸種の故障を生じ運轉不能に陥ることがある。

此の發明は敍上の缺點を除去せんが爲に考案したもので、圖面に就き説明すれば、回轉棒(3)は内端を沈澱槽(7)の中心に有する柱軸に承けしめ、外端は沈澱槽の更に外周に設置せられた軌道上に車輪を以つて可動的に懸吊状態に架し、之と別個に之を牽引するトラクター(21)を設け、沈澱槽の外周面部とトラクター(21)とに無端鋼索(18)を緊張力を加減し得るやうに装架し、この運轉装置に依り聯絡子(17)を介して回轉棒(3)を運

轉するやうにしたものである(圖-6)。以上の構成に依り回轉桿が上方に押し上げられても運轉には影響ない利點がある。

圖-6.

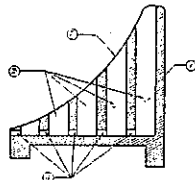


コンクリート重力堰堤の築造方法

(特許第 139256 號 發明者 (特許料權者) 佐藤經徳)

此の發明は、堤體內に上部を開口した多數の縦の冷却孔(3)と冷却孔の下端部附近に於て之と連通する横の通風孔(4)とを形成せしめつゝ外形が最後の塊體と同様なるコン

圖-7.



クリート堰堤の骨格を其底部より順次に構築し、次に冷却孔及通風孔(3)(4)を拾ひ取り式に順次にコンクリートを以つて充填して上記骨格と一體と爲すやうに築造する方法で、之に依りコンクリートの龜裂を防止せんとするものである(圖-7)。

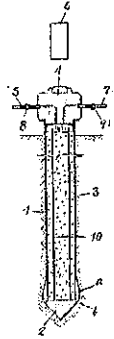
壓氣及打撃併用凹凸杭築造方法

(特許第 139260 號 發明者 (特許料權者) 箱根正徳)

此の杭築造方法は、壓氣と打撃を併用して凹凸杭を築造する方法で、套管(1)の頂部を打撃機(6)にて打撃

し之に基く下降動と、内部に送給した壓搾空氣に依る大なるエアークッションの作用に基く上昇動とに依り套管に大なる上下動を誘起せしめ、尙套管の下部に外部より内方に向つて傾斜面(b)を形成せしめ、以上の上下動とその傾斜面に依り周側に大小任意の凹凸面を有する杭を築造せんとするものである(圖-8)。

圖-8.

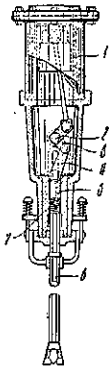


爆發式鑿岩機

(特許第 133423 號 發明者 (特許料權者) 藤世 錦)

此の發明は、主として鑿に加ふる打撃力を任意に調節せんが爲に考案したもので、内燃機關(1)に依つて回轉される曲柄軸(2)に曲柄(3)を楔着し、其の曲柄(3)に依り往復片(5)を往復させ、螺旋發條(7)を介して鑿を打撃するやうにしたものである。以上の構成なるが故に曲柄を交換する事に依り叩子の衝程を変更することが出来、又鑿に加ふる衝擊力を調節することが出来る(圖-9)。

圖-9.



(附) 登録實用新案

- コンクリート用鐵筋 (第 275579 號 實用新案權者 野田只治 公告 14 年第 6936 號)
- コンクリート用竹筋 (第 276047 號 實用新案權者 細田貞一 公告 14 年第 6491 號)
- 鐵筋コンクリート矢板 (第 275586 號 實用新案權者 尾永組 公告 14 年第 11722 號)